

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	26	事業名	新分野への経営支援の強化			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	13	施策名	実効性の高い会員加入促進運動の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員数の減少に歯止めがかからず、商工会の組織力が低下している。

2. 事業のねらい

会員増強による組織基盤の強化に向け、商工会の中長期計画に基づく会員加入促進運動を支援する体制を整える。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
63	新規会員加入につなげる新分野(農業等)への経営支援の強化	6次産業化や財務管理を通じた一次産業者の事業者化について検討したが、具体的な取組として実行するには至らなかった。	a	c	c	C
64	既存会員の商工会活用度の向上	創生プランを通じて商工会の活用メリットについて周知を図ったが、具体的な成果にはつながらなかった。	b	c	c	C

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **b**

〈評価の理由〉

農業者等の会員加入につながる取組は、事業者減少が続く現状を打破する新たな取組である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **c**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

6次産業化や財務管理を通じた一次産業者の事業者化について検討したが、具体的な取組として実行するには至らなかった。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **c**

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

コスト削減につながる取組ではない。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **C**

6次産業化や財務管理を通じた一次産業者の事業者化について検討したが、具体的な取組として実行するには至らなかった。

3. 課題

会員企業となり得る農林水産事業者の実態把握から始める必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

各商工会地域において、会員予備群となる農林水産事業者の実態調査を行い、会員加入計画に反映させるために基盤を整備する。